

令和4年度第1回乗合バス事業者連絡会議 議事概要

1. 日時

令和4(2022)年11月11日(金曜日) 10時00分～11時10分

2. 場所

東京都庁第二本庁舎10階 203会議室

3. 議事

- (1) 会議の目的・進め方について
- (2) バス事業者を取り巻く状況について
- (3) 「東京における地域公共交通の基本方針」について
- (4) 地域公共交通のデータ整備・利活用について
- (5) その他・意見交換

まず、事務局より議事についての説明を行い、その後議論を行いました。
委員からの意見は以下のとおり。

■ 会議への期待、各社の現状等について

- 有意義な議論となるよう、自由な意見交換の場としたい。
- 現状の課題として、新型コロナウイルスによる移動需要の変化で15-20%程度の減収、燃料価格の高騰、運賃改定、乗務員・運行管理者の人員不足、令和6年度改正の改善基準告示の対応による人員不足やコスト増加などがある。
- 近年、新規参入のデマンド交通事業者が駅周辺地区において運行しており、路線バスとも今後競合する可能性がある。全体的な交通体系の視点から、都においてもこのような公共交通に対する位置づけの検討をお願いしたい。
- 東京都に期待する事項として、行政界をまたがる移動需要や、バス運行に関する議論の先導、経営が芳しくない路線への対応などがある。
- 事業者のデータ整備について、さらなるデータ整備をするとなると、ランニングコストを含め事業者の負担は大きい。例えば、各社のデータを東京都で集めて変換することなどを検討して欲しい。

以上